議会報告会

意見・要望のその後

２回目となる議会報告会を、11月10日から３日間の日程で開催しました。今回も、参加者からの提言等を町長に伝え、回答がありましたので、一部を要約してお知らせします。

大山町議会報告会

恵みの里

【参加者の声】
大山恵みの里公社に多くの意見があった。特に農産物処理加工施設は、農家所得の向上を図るという当初の構想、基本理念を守ってほしい。

【町長】
農産物処理加工施設は、経営基盤安定を目標とした商品開発に取り組んでいる。
将来的に公社は独立した組織とし、農産物に付加価値を与え、農家所得の向上につなげるよう努力したい。

滞納金

【参加者の声】
約６億円の滞納金は大きな問題。納税意識向上の啓発に努め、解決を。

【町長】
税、料金等の徴収体制をより強化し、滞納情報を広報誌等で広く周知したい。
行財政改革審議会から、滞納者の少ない県下一の町をめざすよう、答申を受けている。
これにしたがい、徴収体制の強化と納税意識の向上を図る。

分譲地

【参加者の声】
ナスパルの分譲地は販売数が低下している。民間は、価格を下げて販売促進をするが、行政は創意工夫がない。発想の転換を。

【町長】
安価にするのも一つの手法だが、公平性という点から適当でない。
ＰＲは、関西圏のＩＪＵターン相談会を利用し、また、イオン日吉津に広告看板の設置も予定している。
山陰道が開通すれば、さらに販売数も増えると期待している。

ごみ袋

【参加者の声】
可燃ごみ用のごみ袋のサイズは、大と小の２種類がある。
ごみの減量・経済性・効率性等を考えて、中サイズのごみ袋を検討してはどうか。

【町長】
新年度ごみ減量化推進会議で意見を聞き、作るかどうか決定する。